

授業科目名 (英文名)	臨床食環境栄養特論 (Advance Study of Clinical Dietary Nutrition)	科目区分 対象学生	
単位数	2.00	開講年次・ 学期	1, 2 年次・前期
担当教員	伊藤 美紀子 吉村 美紀 坂本 薫 中出 麻紀子 吉田 優	所属	環境人間学研究科
オフィス・場所		連絡先	
講義目的及び到達目標	現代社会において、「食」を取り巻く環境は大きく変化し、生活習慣病の増加、高齢者の低栄養など様々な課題が存在する。そこで、本講義では、現代社会における食を取りまく現状から課題を明らかにし、食や栄養学的な視点からの研究アプローチにつなげることを目的とする。これにより多面的な学問領域から考察できるようになることを目標とする。		
講義内容・授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. ガイダンス 医療における食・栄養とは (伊藤) 2. 低栄養の現状と課題-サルコペニア・フレイルを中心に (伊藤) 3. 食事療法による栄養改善効果について (伊藤) 4. 日本人の栄養状況の変遷、栄養改善の歴史(中出) 5. 近年の日本人の健康・栄養上の問題点 (中出) 6. 近年の疾病予防・健康増進対策 (中出) 7. 現代日本人の食事と肥満、糖尿病について (吉田) 8. 塩分と高血圧について (吉田) 9. 食生活環境とがんについて (吉田) 10. 今求められる「給食」とは (坂本) 11. HCAPPと新調理システム (坂本) 12. 食品から食物へ (坂本) 13. 学童期の栄養 (吉村) 14. 思春期の栄養 (吉村) 15. 高齢期の咀嚼・嚥下障害への対応 (吉村) (講義の内容や日程は変更になる場合がある)		
テキスト	特に指定しない。必要に応じて資料を配付する。		
参考文献			
成績評価の基準・方法	成績評価の基準 現代社会における食の課題について理解し、その解決方法について多面的な学問領域から考察できる者については、講義目的・到達目標に記載する能力(知識・技能、判断力、表現力等)の到達度に基づき、S(90点以上)、A(80点以上)、B(70点以上)、C(60点以上)による成績評価のうえ、単位を付与する。 成績評価の方法 講義ごとのレポート課題、受講態度等を総合して評価する。		
履修上の注意・履修要件	本授業は、オンラインで授業を行います。視聴できる通信環境(PC・タブレット等の端末やWi-Fi環境)の準備をお願いします。		
実践的教育	医療機関や大学、その他公的機関で、診療やNSTなど臨床栄養の業務に実際に従事した経験がある教員が実践的教育を行う。		
備考	この科目は、先端医療工学研究所の大学院共通科目として、他の研究科の受講も可能になっています。		